

～ ユニバーサルデザインの視点を取り入れた「わかりやすい授業づくり」～

～ 過ごしやすい「環境」をつくろう！



【指導室 特別支援教育班】

葛南教育事務所では、令和4年度葛南教育事務所重点目標の一つとして、「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた『わかりやすい授業づくり』」を掲げています。今回は、過ごしやすい環境づくりについて考えてみます。

児童生徒一人一人の様子をよく見てみると、諸感覚の感度や身体の動きの様子、得意なコミュニケーション手段等が多様であることがわかります。教師は、どのような児童生徒にとっても過ごしやすい学びやすい環境を模索し、環境づくりを工夫することが大切です。

Point 1 ～ 感覚に配慮した環境づくり ～

★感覚の感度は個人差が大きく、敏感だったり鈍感だったりすることで集団生活になじみにくくなる場合があります。感覚の感度は変えられるものではないので、配慮が必要です。感覚の程度は人と比べることが難しく、自覚が無いこともあります。

- 聴覚が過敏** 特定の音質の音や声が苦手・大きな音や声が苦手・複数の音や声が重なっている状況が苦手・一つの音や声に集中して聞くことが難しい 等
- 視覚が過敏** 光がまぶしい・白いノートがまぶしい・テレビ画面やタブレット型端末の画面がまぶしい・多くの視覚情報があると疲れる 等
- 嗅覚が過敏** 給食の匂いが苦手・建物や物、人の匂いが苦手・多くの人がいる場所が苦手・洗剤や柔軟剤の匂いが気になる 等
- 触覚が過敏** 物や人を触ることを警戒する・人に身体を触られることが苦手・衣服の素材や締め付けにこだわる・帽子やマスク、靴下等の着用が苦手 等 (部位による)
- 触覚が鈍麻** 手先が不器用・衣服の乱れに気付きにくい・硬い食べ物を好む 等 (部位による)
- 味覚が過敏** 初めて食べる物を警戒する・特定の物ばかり食べる 等

★聴力や視力に問題が無くても、「必要な聴覚情報（音や声）を抽出して聞き取る力」「必要な視覚情報（物・字・絵・動画等）を抽出して見る力」「聴覚情報に注意を向け続ける力」「一つの物を見続ける力」「聞いたことを覚えておく力」「見たことを覚えておく力」「音や声を聞き分ける力」「形を見分ける力」等には大きく個人差があります。

【全体の環境を整える（例）】



見やすい提示

防音対策

【個別に対策をする・

周囲の理解を深める（例）】



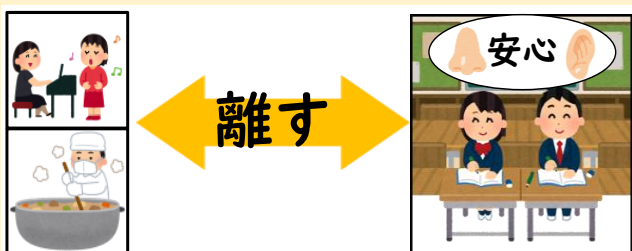
目が疲れない工夫

休憩できる場

音を和らげるイヤーマフ
聴覚過敏のマーク

すべりにくい定規

扱いやすい工夫



過敏のある児童生徒に配慮した教室配置

Point 2 ～ 身体の動きに合わせた環境づくり ～

- ★机や椅子の高さは児童生徒の身体に合っているかどうか、定期的に確認が必要です。高さが合っていないと、姿勢がくずれやすいだけではなく、上半身を動かしづらかったり、視野が狭くなったりすることにもつながります。身体の成長にも影響を及ぼすことがあります。身体測定の時期に合わせて、調整しましょう。
- ★座面が滑りやすいと、姿勢を保持することが難しくなります。座布団の使用には注意が必要です。筋力が弱く姿勢保持が難しい児童生徒の椅子の座面に滑り止めシートを貼るという工夫もあります。
- ★授業の中では、活動の切り替わりのタイミングに合言葉をかけながら姿勢を整えるように習慣付けると良いでしょう。
- ★身体的な疾患を有する児童生徒がいる場合には、過ごしやすい教室配置や教室環境を工夫することが大切です。移動のしやすさや緊急時の避難のしやすさに配慮します。
- ★中には、身体の一部を動かしている方が学習に集中しやすい児童生徒もいます。場合によっては、動ける状況を作ったり、触る物を用意したりする工夫をすると過ごしやすくなる場合があります。可能な範囲で工夫してみても良いでしょう。

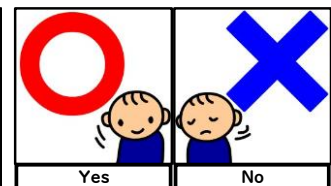


【身体を動かしている方が集中できる児童生徒の席の工夫（例）】



Point 3 ～ 表現しやすい環境づくり ～

- ★「Help カード」を用意しておき、児童生徒が机に貼ることで伝えられるようにします。いつでも助けを求められるという安心感にもつながります。
- ★言葉でのやりとりが得意ではない児童生徒の表現の補助として、絵カードを使う方法があります。絵を指差したり、カードを手渡したりして、意思を伝えることができます。日本語が母語ではない児童生徒にも役立つので、学校生活で必要なイラストを一覧にしておき、各教室に置いておくのも良いでしょう。
- ★「表現すること」のハードルを下げることで、伝え合える心地良さを感じられるようにしましょう。



児童生徒は、未来の「共生社会」を創る一員です。人々の多様性を知り、多様な人々を尊重できる児童生徒を、学校全体で育てていきましょう。